

令和元年6月3日

松阪市議会議長
中島清晴様

日本共産党 栗谷建一郎

議員研修会参加報告

2019年5月20日・21日、東京多摩市で開催された講座に参加してきましたので報告します。

日時	2019年5月20日午後1時～21日午後3時
会場	都立多摩市図書館
研修会の名称	よくわかる市町村財政分析 基礎講座
主催	多摩住民自治研究所
講師	大和田一紘

(所感)

市の予算・決算の書類は大変な量でどこをどう読めば分析できるのか、充分わからないままきていましたが、この研修では決算カードを使って、分析表を作ることから始まりました。大変小さい文字を読み取り、分析表に書くのはかなり大変な作業で、求められる項目がどれで、書き写す項目がどこかと教えてもらいながら、分析表を作成していきました。そのことによって、市の財政の構造を自分の頭の中で大まかにつかむことができたように思います。また、講義の中で、財政分析の仕方は2つあるとして、自治体の財政は単年度を見ているだけでは分からず、経年的にみることと、他の自治体と比較することだという話はよく分かりました。そして、「なぜこういう数字なのか、なぜこういう違いがでてくるのか」を検討することの大切さを学びました。決算収支の見方についても、形式収支と実質収支の違い、歳入では四大財源や一般財源、特定財源についての理解など、分析表を作りながら学びました。歳出では目的別歳出と性質別歳出をクロスさせることで、その自治体の特徴が分かってもらいました。松阪市の財政は今のところ財政調整基金が約100億円もあり、特に問題があるとは思えませんが、これからどういう方向に行くのかによって、いろんな問題に直面することがあると考えます。財政分析の力をつけて議員としての役割を果たしていきたいと思います。今回の「習うより慣れろ」の財政分析の研修は勉強になりました。